

## 8条例5予算等を可決し閉会



議場の風景

## 立候補制により市議会新役員を選出

### 6月定例会のあらまし

平成21年第2回市議会定例会を、5月21日から6月22日まで33日間開催いたしました。初日の本会議では、立候補制による役員選挙を実施し、議長に村上正明議員、副議長に石倉加代子議員を選出しました。また、常任委員会等の所属議員の改選を行い、2面～3面に記載のとおり選出しました。

続く5月22日の本会議では、中川智子新市長から、あいさつと議案の提案説明があり、その後、伊福議員を監査委員とすることに同意を求める議案等6件について可決、同意をしました。

次に6月2日以降4日間、20名の議員から市政に対する一般質問を行い、8日には、議案や市民等から提出された請願を所管する委員会に付託しました。また、10日から19日にかけて各常任委員会を順次開催し、19日と22日の本会議で各委員長から審査の概要や結果について報告を行い、議案や請願等に対する採決を行いました。

本定例会における採決の結果は、全34議案中31議案を可決・同意・承認等し、1請願を採択、4意見書、1決議を可決しました。なお、本定例会の議決結果一覧は4面～5面、決議は8面、一般質問の概要は9面から15面にそれぞれ掲載しているのとおりです。

### おもな内容

三役紹介・議長就任あいさつ	2面
委員会等の所管と名簿	2面～3面
議案等の結果一覧	4面～5面
常任委員会報告	6面～7面
特別委員会報告	8面
決議	8面
一般質問	9面
議員一覧	16面
今後の予定	15面

5・19	▽議会運営委員会
5・21	▽本会議1日目
(役員選挙)	
5・22	▽議会運営委員会
▽本会議2日目	
(議案説明・議決)	
6・2	▽本会議3日目
(一般質問)	
6・4	▽本会議4日目
(一般質問)	
6・5	▽本会議5日目
(一般質問)	
6・8	▽本会議6日目
(一般質問・委員会付託)	
6・10	▽総務常任委員会
(付託議案審査)	
6・11	▽文教生活常任委員会
(付託議案審査)	
6・12	▽産業建設常任委員会
(付託議案審査)	
6・18	▽議会運営委員会
6・19	▽本会議7日目
(議決・議案説明・委員会付託)	
6・22	▽議会運営委員会
▽本会議8日目	
(議決)	



5月～6月

# 市議会役員構成決まる

議長 村上氏 副議長 石倉氏 監査委員 伊福氏



伊福 義治 監査委員

略歴  
当選1回  
総務常任委員会副委員長、  
行財政改革調査特別委員会  
副委員長、市立病院に關する  
特別委員会副委員長を歴  
任  
(市民ネット宝塚)



石倉 加代子 副議長

略歴  
当選3回  
総務常任委員会委員長、文  
教厚生常任委員会委員長、  
産業建設常任委員会委員長、  
まちづくり調査特別委員会  
委員長、観光・商工業活性  
化特別委員会委員長を歴任  
(爽新会)



村上 正明 議長

略歴  
当選4回  
総務常任委員会委員長、  
建設水道常任委員会委員長、  
生活経済常任委員会委員長、  
行財政改革調査特別委員会  
委員長、決算特別委員会委  
員長等を歴任  
(自民党議員団)

## 議長就任あいさつ

去る5月21日の定例市議  
会で議長に選出され身の引  
き締まる思いであります。  
さて、各自治体には、自  
己決定・自己責任の原則の  
もと地域の实情に即した行  
政運営が強く求められてお  
り、意思決定機関である市  
議会の果たすべき役割は更  
に大きくなってまいります。

本市には、行財政改革、  
中心市街地活性化や市立病  
院経営改革などの問題が山  
積しています。改めて職責  
の重大さを痛感するととも  
に、健全な市政推進と円滑  
な議会運営に向けて誠心誠  
意努力していく覚悟をいた  
しております。  
本市議会では、これまで  
もさまざまな議会改革に取  
り組んでまいりましたが、  
地方分権の時代にふさわし  
い議会のあり方を検討する

ため、本定例会において議  
会改革特別委員会を設置い  
たしました。今後、議会基  
本条例や議会の活性化、議  
員の政治倫理に関すること  
などについて全議員で議論  
を深めてまいります。  
ご承知のとおり、世界金  
融危機の影響を受け日本経  
済も大きな打撃を蒙りまし  
た。本市も例外ではなく厳  
しい財政状況下に置かれて  
おり、限られた財源の有効  
活用については、議会の使  
命を旨に執行機関に対し十  
分なチェック機能を果たす  
べく努めてまいります。  
議員一人ひとりが自らの  
責務を再認識し、「安全で  
安心して快適に暮らせるま  
ちづくり」に向けて全力を  
傾注してまいりますので、  
今後とも議会活動に対し、  
一層のご理解とご支援を賜  
りますようお願い申し上げます。

議会運営委員会 (5名)			
所 管	委員名( 委員長、 副委員長 )		
1 議会の運営に関する事項			
2 議会の会議規則、委員会に関する条例等に 関する事項	江原 和明 草野 義雄	小山 哲史 坂下 賢治	金岡 静夫
3 議長の諮問に関する事項			
常任委員会			
委員会の名称(委員数)・所管	委員名( 委員長、 副委員長 )		
総務常任委員会(9名) 企画経営部、総務部及び会計室の所管に関する事 項並びに他の委員会に属さない事項	小山 哲史 金岡 静夫 となき正勝	中野 正 坂下 賢治 浜崎 史孝	梶川みさお 寺本 早苗 山本 敬子
文教生活常任委員会(9名) 市民環境部、健康福祉部、子ども未来部、市立病 院及び教育委員会の所管に関する事項	たぶち静子 伊福 義治 北山 照昭	大島淡紅子 江原 和明 草野 義雄	井上きよし 北野 聡子 藤岡 和枝

# 委員会等の所管と名簿

常任委員会			
委員会の名称(委員数)・所管		委員名(委員長、副委員長)	
産業建設常任委員会(7名) 都市産業活力部、都市安全部、消防本部、上下水道局 及び農業委員会の所管に関する事項		近石 武夫 田中 こう 村上 正明	多田浩一郎 深尾 博和 石倉加代子 三宅 浩二
特別委員会			
委員会の名称(委員数)・所管		委 員 名 (委員長、副委員長、部会長、副部会長)	
市立病院に関する特別委員会(12名) 市立病院の運営に関すること		北山 照昭 伊福 義治 北野 聡子 となき正勝	草野 義雄 江原 和明 坂下 賢治 藤岡 和枝 井上きよし 大島淡紅子 寺本 早苗 村上 正明
都市活性化及び財政運営に関する特別委員会(13名) 観光・商工業の活性化に関すること 中心市街地の活性化に関すること 農業振興に関すること 財政運営に関すること		小山 哲史 梶川みさお 田中 こう 中野 正 山本 敬子	三宅 浩二 金岡 静夫 たぶち静子 浜崎 史孝 石倉加代子 多田浩一郎 近石 武夫 深尾 博和
議会改革特別委員会(25名) 議会基本条例の調査に関すること 議会の活性化に関すること 宝塚市議会議員の政治倫理に関する条例に関すること		(理事会) 石倉加代子 北山 照昭 村上 正明	江原 和明 大島淡紅子 小山 哲史 寺本 早苗 金岡 静夫 となき正勝
(第1部会) 先進の基本条例等調査・研究 開かれた議会の研究		(第1部会) 井上きよし 近石 武夫	大島淡紅子 伊福 義治 中野 正 浜崎 史孝 草野 義雄 藤岡 和枝
(第2部会) 地方自治法第96条第2項の議決事項の研究 種々の議会活性化の検討		(第2部会) 江原 和明 たぶち静子	小山 哲史 北山 照昭 寺本 早苗 山本 敬子 多田浩一郎 深尾 博和
(第3部会) 他市議会の政治倫理・資産公開に係る取り組み事例の 研究		(第3部会) 梶川みさお 坂下 賢治	となき正勝 金岡 静夫 田中 こう 三宅 浩二 北野 聡子
会派代表者会(9名)			
所 管		構 成(議長、副議長)	
会派間の意見調整その他議会運営上必要と認める事項 について協議・調整		村上 正明 大島淡紅子 小山 哲史	石倉加代子 金岡 静夫 となき正勝 江原 和明 北山 照昭 山本 敬子
議会改革検討委員会(9名)			
所 管		構 成(議長、副議長)	
社会経済情勢の変化に対応した来るべき地方分権の時 代にふさわしい効率的で、かつより開かれた議会のあ り方を検討		村上 正明 大島淡紅子 小山 哲史	石倉加代子 金岡 静夫 浜崎 史孝 江原 和明 草野 義雄 山本 敬子
議会報編集委員会(9名)			
所 管		構 成(議長、副議長)	
市議会報「かけはし」の編集及び発行について協議・調 整		村上 正明 大島淡紅子 小山 哲史	石倉加代子 金岡 静夫 となき正勝 江原 和明 北山 照昭 山本 敬子



# 議案等の結果一覧

議案等番号	議案等の件名	議案等の内容	審議結果
	議会議長の辞職につき許可を求めることについて	小山議長から提出された辞職願を許可する	許可 (全員一致)
選挙第1号	議会議長の選挙について	新しい議長を選出する	選挙執行 (投票)
	議会副議長の辞職につき許可を求めることについて	大島副議長から提出された辞職願を許可する	許可 (全員一致)
選挙第2号	議会副議長の選挙について	新しい副議長を選出する	選挙執行 (投票)
	委員会の閉会中の所管事務調査事項について	本会議閉会中に委員会が調査できる所管事務事項を決定する	可決 (全員一致)
選挙第3号	兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	兵庫県後期高齢者医療広域連合議会の宝塚市選挙区の議員を選出する	選挙執行 (指名推選)
	議席の一部変更について	議員の議席の一部を変更する	可決 (全員一致)
報告第1号	専決処分した事件の承認を求めることについて(宝塚市市税条例の一部を改正する条例の制定について)	地方税法の改正に伴い、市税条例の一部を改正するため専決処分したもの	承認 (全員一致)
報告第2号	専決処分した事件の承認を求めることについて(宝塚市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	地方税法の改正に伴い、都市計画税条例の一部を改正するため専決処分したもの	承認 (全員一致)
報告第3号	専決処分した事件の承認を求めることについて(平成20年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算(第3号))	平成20年度特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出予算の総額を、それぞれ23億7,713万円とするため専決処分したもの	承認 (全員一致)
議案第55号	平成21年度宝塚市一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,524万7千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ645億670万円とするもの	可決 (全員一致)
議案第56号	平成21年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億2,000万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ211億1,480万円としようとするもの	可決 (全員一致)
議案第57号	平成21年度宝塚市特別会計老人保健医療事業費補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額にそれぞれ6,100万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億10万円としようとするもの	可決 (全員一致)
議案第58号	平成21年度宝塚市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億1,200万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ651億1,870万円とするもの	撤回 (全員一致)
議案第59号	平成21年度宝塚市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出のうち水道事業費用の予定額を1,000万円増額し44億7,694万円とするとともに、資本的収入の予定額を1,207万5千円増額し6億2,202万8千円としようとするもの	可決 (全員一致)
議案第60号	宝塚市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	地方税法の改正に伴い、個人市民税から税額を控除する制度の創設等を行うもの	可決 (全員一致)
議案第61号	宝塚市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	長期優良住宅の普及の促進に関する法律の施行に伴い、認定申請手数料等を徴収するもの	可決 (全員一致)
議案第62号	宝塚市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院の臨時勧告に基づき、市議会議員の期末手当の支給月数を0.15月分引き下げるもの	可決 (全員一致)
議案第63号	宝塚市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院の臨時勧告に基づき、特別職の期末手当の支給月数を0.15月分引き下げるもの	可決 (全員一致)
議案第64号	宝塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法の改正に伴い、国民健康保険税の課税の特例等に関し、本条例の一部を改正するもの	可決 (全員一致)
議案第65号	宝塚市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	市営住宅への暴力団員の入居を制限するため、本条例の一部を改正するもの	可決 (全員一致)
議案第66号	宝塚市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	県まちづくり技術センターと県下水道公社が合併したため、本条例の一部を改正するもの	可決 (全員一致)

# 議案等の結果一覧

議案等番号	議案等の件名	議案等の内容	審議結果
議案第67号	損害賠償の額の決定について	幼児が観音池に誤って転落し負傷した事故の損害賠償の額を、468万4,560円と決定するもの	可決 (全員一致)
議案第68号	公の施設の指定管理者の指定について	平成21年7月1日から3年間、株式会社エイチ・ツーオーを市立温泉利用施設の指定管理者として指定するもの	可決 (全員一致)
議案第69号	第三セクター等改革推進債の起債に係る許可の申請について	宝塚まちづくり株式会社の破産による損失補償金に充てるため、6億440万円を上限とする起債を発行するもの	撤回 (全員一致)
議案第70号	宝塚市監査委員の選任につき同意を求めることについて	議会選出の監査委員として、伊福義治(福井町)を選任することに同意を求めるもの	同意 (全員一致)
議案第71号	宝塚市公平委員会の委員選任につき同意を求めることについて	欠員となっている公平委員会の委員として、西林陽子(寿楽荘)を選任することに同意を求めるもの	同意 (全員一致)
議案第72号	宝塚市自治功労者の認定について	小中和正(上佐曾利)を自治功労者として認定するもの	認定 (全員一致)
議案第73号	宝塚市自治功労者の認定について	徳田逸男(神戸市北区)を自治功労者として認定するもの	認定 (全員一致)
議案第74号	平成21年度宝塚市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億1,200万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ651億1,870万円とするもの	可決 (賛成多数)
議員提案第15号	宝塚市特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の 一部を改正する条例の制定について	議員が非常勤の特別職の職員(監査委員を除く)を兼ねる場合、特別職の職員としての報酬を支給しないようにするもの	継続審査
議員提案第17号	宝塚市議会委員会条例の一部を改正 する条例の制定について	議会運営委員会委員及び常任委員会委員の任期を5月20日までに短縮するもの	可決 (全員一致)
議員提案第18号	特別委員会の設置について	市立病院に関する特別委員会、都市活性化及び財政運営に関する特別委員会並びに議会改革特別委員会を設置する	可決 (全員一致)
推薦第4号	宝塚市農業委員会の委員推薦について	農業委員会委員として、江原和明(鹿塩1)、たがち静子(下佐曾利)を推薦するもの	推薦決定 (全員一致)
意見書等番号	意見書・決議の件名	意見書・決議の内容	審議結果
意見書第43号	経済危機対策などに伴う地方負担の 軽減を求める意見書	経済危機対策臨時交付金等の運用は地域の実情等に応じて柔軟に対応すること等を国に求める	可決 (全員一致)
意見書第44号	ハローワーク機能の抜本的強化を求 める意見書	相談員の増員にあたっては、地方のハローワークの実態に応じて適切な配分を行なうこと等を国に求める	可決 (全員一致)
意見書第45号	国直轄事業負担金の改善を求める意 見書	地方への説明責任を果たすことや対象となる経費の明確な線引きを行なうこと等を国に求める	可決 (全員一致)
意見書第46号	豊かな教育を実現するための義務教 育費国庫負担制度の堅持を求める意 見書	ゆきとどいた教育を保障するため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること等を国に求める	可決 (全員一致)
決議第9号	アピア1、2リニューアル事業資金 融資損失補償金の予算執行に対する 決議	逆瀬川アピア1、2の再生は、地元商業者による主体的な取り組みを原則とし、安易な市支援は行なわないこと等を決議	可決 (賛成多数)
請願番号	請願の件名	請願の内容	審議結果
請願第2号	小・中学校の35人学級実現を求める 請願	全学年で35人以下学級の実現等を求める	審議未了
請願第34号	兵庫県教育委員会に「宝塚学区を他 の学区と統合しないことを求める意 見書」の提出を求める請願	宝塚学区を近隣の複数志願制学区と統合しないよう県への意見書提出を求める	継続審査
請願第39号	小・中学校の35人学級実現を求める 請願	全学年で35人以下学級の実現及び栄養職員の全校配置等を求める	審議未了
請願第43号	豊かな教育を実現するための義務教 育費国庫負担制度の堅持を求める請 願	義務教育費国庫負担制度を堅持するよう国への意見書提出等を求める	採択 (賛成多数)
請願第44号	別居・離婚後の親子の面会交流に関 する法整備と支援を求める請願	実効性ある親子の面会交流が可能となる共同親権法制化等の国等への意見書提出を求める	継続審査

総務常任委員会

基金取り崩しにより

損失補償

【宝塚市市税条例等の一部を改正する条例の制定】

(全員一致可決)

本件は、住宅借入金等特別税額控除の創設などの地方税法の改正に伴い、所要の内容に対応するために条例を改正するものです。

特別税額控除、特別控除や課税の特例による税収への影響や、減収補填がどのようになるのか等質疑がありました。

【宝塚市手数料条例の一部を改正する条例の制定】  
(全員一致可決)  
本件は、長期優良住宅の普及の促進に関する法律の認定申請等に対する審査手数料について対応するため条例を改正するものです。  
長期優良住宅建築等の計画は、質の高い住宅ストックの形成により住生活の向上及び環境負荷の低減を図

旧まちづくり株式会社への貸付金から相殺額を除き、3%の利息を加えたものです。市は、補償額の支払い後に、銀行団から金銭債権の譲渡を受けることになりました。

観点から認定を行おうとするもので、件数は、戸建33件、集合住宅3件を見込んでいます。

長期優良住宅建築等の計画に定める認定基準について等質疑がありました。

【平成21年度宝塚市一般会計補正予算(第3号)】

(全員一致可決)

本件は、歳入歳出予算の総額からそれぞれ6億1200万円増額し、総額を651億1870万円にしよ

うとするものです。  
主な歳入予算は、長期優良住宅普及推進事業の審査手数料、財政調整基金の取り崩しによる一般会計への繰入金等で、主な歳出予算は、同繰入金を財源とするアピア1・2リニューアル

事業資金融資損失補償金です。  
補償金は、銀行団による

旧まちづくり株式会社への貸付金から相殺額を除き、3%の利息を加えたものです。市は、補償額の支払い後に、銀行団から金銭債権の譲渡を受けることになりました。

同事業の導入の可能性、NEDOから受ける補助金、事業実施するための工事期間等、契約による省工率等が達成できない場合の対応等について質疑がありました。

【専決処分した事件の承認を求めることについて(平成20年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算(第3号))】

(全員一致承認)

平成20年度中に制度化された減額措置等に合わせた減額補正をした後、保険料収入額が予算額を上回ったため、県広域連合への納付額と合わせて増額したものです。

本事業の実施に伴い、市は当初年約7万円の利益を、15年後からは年約1000万円の利益を得る仕組みができることとなります。  
他の公共施設への



ESCO事業導入で省エネ

文教生活常任委員会

国保料2割軽減も

職権適用へ

【宝塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について】

(全員一致可決)

本件は、地方税法の改正に伴い、国民健康保険税の課税の特例並びに国民健康保険税の減額及び課税の特例に関して本条例の一部を改正するものです。

まず、低所得者にかかる2割軽減の適用は、従前は申請に基づき判断していたが、今後は7割軽減、5割軽減と同様、申請によらず職権で行うこととなります。

また、軽減対象となる世帯の割合は全体の約40%であり、阪神各市の中では低い水準となっています。

【損害賠償の額の決定について】  
なお、今回の改正により、軽減対象となる世帯数が増減はないとのことです。

【宝塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について】  
(全員一致可決)  
本件は、PTA主催の行事に参加するため、市立幼稚園に来園した保護者に同伴され園庭で遊んでいた幼児が、観察池に誤って転落し負傷した事故について、園の施設管理上の瑕疵によると認められるため、当該幼児及びその保護者に対し468万4560円の損害を賠償するものです。  
まず、事故発生から3年の期間が経過した理由は、発生当初は病状が深刻であったことや、回復後の身体の障害程度の経過を観察する必要があったためです。  
なお、現在はリハビリ等により日常生活に支障がないほどに回復しています。  
また、幼稚園の施設管理上の瑕疵は、池が職員室から見えにくい場所にあったことや、転落防止のための



産業建設常任委員会

市営住宅管理

条例を改正

【平成21年度宝塚市水道事業会計補正予算第1号】

(全員一致可決)

本件は、昭和47年から48年に取得した川下川ダム用地が、地図混乱地のため分筆等の用地処理ができず、

の新都市用地と持ち分で所有権登記を行っていたが、

今般、県より「周辺すべての用地が確定し地図訂正も完了した」との報告があつたため、ダム用地の区域を確定し分筆登記を行い、所有権登記等を完了させるため、委託料を1千万円増額補正し、収益的支出を41億5669万6千円にしようとするもの。

また、平成21年1月に国の経済対策の20年度補正予算が成立し、21年度事業として予算計上していた北部地域老朽管更新整備事業が「ライフライン機能強化等

事業費国庫補助金」の対象となつたため、資本的収入の国庫補助金を1207万5千円増額補正し、3013万5千円にしようとするもの。

【宝塚市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定】

(全員一致可決)

本件は、市営住宅への暴力団員の入居を制限するため、条例の一部を改正しようとするもの。

問 現在、市営住宅に本条例改正の対象となる入居者がいるのか。

答 現在対象となる入居者はいない。しかし、市内に指定暴力団の事務所はないものの、構成員及び準構成員が数名在住している。



川下川ダム

問 情報入手の方法は。

答 条例の制定後、宝塚警察署と情報の提供や相互協力等をおこなう旨の協定を結び、さらなる連携に努めていきたい。

問 実際に暴力団員の入居情報があつた場合、退去までの流れは。

答 まずは、警察の協力のもと、情報を確認し、一時的に本市が対応する。暴力団員が入居することが明らかになれば、市職員が対象の住居に伺い、条例の手続きに従い退去をお願いする。さらに居座りつづけるならば、法的措置として明け渡し請求を行っていく。

問 暴力団と推定される入居者に子どもがいる場合の対応は。

答 入居者本人の問題であるため、子どもについては手続きの前段階で庁内の関係課と連携、調整。

問 知らない間に暴力団員と同居している場合もあるのではないか。

答 管理人や近隣住民から同居等の情報があれば、市職員が情報の確認に向向き、各戸訪問し、生活状況等の確認をおこなう。そして、暴力団員であることが判明した時点で、すみやかに退去をお願いしていく。

問 頻繁に訪れる親戚等や訪問者も対象に含めることはできないのか。

答 入居者本人以外は誰が暴力団員なのか特定することが困難。管理体制の強化やパトロール等で十分注意していきたい。

意見 入居していなくても暴力団員が頻繁に訪問しているということになれば近隣住民も不安になる。今回、制限規制をもうけるのは住民の安全確保のためであり、今後、接見禁止も十分検討すべき。

ネットが張られていなかったこと等によるものです。

次に、その後の教育委員会の対応についてですが、事故があつた同園の観察池は花壇に変更するとともに、全幼稚園の同様の施設を点検し、転落防止の設備のない観察池には防護ネットを設置して



国民健康保険診療所

います。また、保護者が参加する行事の必要性を見直し、実施する場合は託児を行う等の対応をしています。なお、幼稚園には地域の子育てセンターとしての役割もあり、園庭開放等により未就園児も多く来園することから、教育長通知等により再度周知徹底を図っていきたいとのことです。

【豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願】

(全員一致採択)

本件は、豊かな教育を保障し保護者の教育費負担を軽減するため、義務教育費の国庫負担制度の堅持や義務制第8次教職員定数改善

計画等を実施するよう、国に対し意見書の提出を求めます。

まず、義務教育費の国庫負担は昭和60年に教材費が除外され、以降減額され続け、現在では国庫の負担割合が3分の1に縮小される等、地方の負担は増加しています。

また、就学援助は前年度の所得額により認定しますが市の負担は増加傾向にあり、準要保護者については国庫負担制度が廃止され全額市の負担となつています。

次に、教職員の定数配置は、正規教職員が951人、定数枠内の臨時教職員が99人となつています。

前市長の不法行為等に関する調査特別委員会報告

本委員会は、前市長の不法行為等に関する原因究明と再発防止について調査しました。資料の多くは県警捜査当局に押収され調査に一定の限界もありましたが、当時の担当職員の手持ちメモや記憶を頼りにできる限り事実の解明に努めました。以下その概要と結果について報告します。

まず、原因の究明についてです。

- 1 前市長は就任直後から契約に不法に関与しており、自覚と資質の欠如が一連の事件の大きな要因となっていました。
- 2 本市には内部告発者を保護する公益通報制度がありませんでしたが、十分に機能していませんでした。
- 3 職員は関係業者から執拗な電話や面談を求められていたが、市は直接的な暴力等の危険性がなく不当要求行為対策要綱に定める措置を採っていませんでした。
- 4 前市長はいったん決定していた業者を失格とし、次点の業者と契約させまし

たが、同契約は議決対象ではなく、議会はチェック機能を果たすことができいていませんでした。

以上のことから、汚職事件を防止するには市長自身の個人的な資質に頼るだけでは不十分であり、組織として不法行為等を許さない体制が必要となることが明らかになりました。

次に、再発防止策についてです。

- 元市議会議員が関与していた事件もあつたことから、議会として再発防止を図るため、議長に対し次のとおり申し入れました。
  - 1 コンプライアンス（法令遵守）の徹底を図るため、政治倫理の確立のための宝塚市議会議員の資産等の公開に関する条例の制定や、宝塚市議会議員の政治倫理に関する条例の見直し等について検討する場を設置すること。
  - 2 議会の関与の強化を図るため、地方自治法の規定にもとづく議決事件の見直しを行うこと。
- また、新市長に対し次のとおり申し入れました。
  - 1 原因究明と再発防止策

について外部委員による検討委員会を早期に設置し、その検討経過について随時、議会に報告すること。

- 2 その結果をふまえ、次のとおり検討すること。
  - ・コンプライアンスの徹底について検討する場を設置すること。
  - ・コンプライアンスに関する条例の制定や倫理条例の見直し等を行なうこと。
  - ・入札制度のあり方について見直し、議会のかかわりについて検討すること。

それに対し、市長から、5人の弁護士による前市長の不法行為に関する調査専門委員会を設置した。できるだけ早く市政への不信を払拭し信頼を取り戻したいとの考えが示されました。

- 具体的には、
  - 1 組織内に抱える問題点を明らかにし、二度とこのような不祥事を起こさせないための方策を講じる。
  - 2 専門委員会の進捗状況に応じ議会へ報告する。
  - 3 専門委員会の報告にもとづき、本市のコンプライアンス制度及び入札制度のあり方について、議会と協議しながら検討を進める。

アピア1、2リニューアル事業資金融資損失補償金の予算執行に対する決議

宝塚まちづくり株式会社は、民間活力により地域の潜在力を引き出し、逆瀬川アピアを駅前の「地域の生活・サービス拠点」として再生を図るとともに、本市の中心市街地活性化の推進役としての役割を果たすべく、昨年5月に設立され、市議会としても、その活躍成果に大いに期待していたところである。

昨年3月、同社はリニューアル事業資金に窮し、急遽市に対して損失補償を求めると、時間的な余裕がない中、同社ならびにアピア逆瀬川の危機的な状況を回避すべく、やむを得ず、市提案の債務負担行為予算に対して、賛同してきた。

市議会としては、その後アピア1、2リニューアルオープンを経て、順調に同社の経営が行われるものと期待していたが、リニューアル事業に係る諸問題が惹起するとともに、当初の事業計画から大きく乖離し、

赤字経営に転落するなど、市議会や市に当初説明していたものと全く違う事態となった。このため、市議会としては、市に対して、再三にわたり、空床解消などの経営改善や、追加工事費問題等の早期解決に向け、指導・助言を行うよう、求めてきた。

しかしながら、同社については、本年2月27日、懸命の経営努力にもかかわらず、資金繰りが悪化し、大株主である市への説明・了解も行うことなく、一方的に神戸地方裁判所へ破産手続開始の申し立てを行い、同日、開始決定がなされた。このことについて、市議会として、これまでの経過から、強い憤りを覚えるとともに、市の同社への指導が徹底されてこなかったことに対して、市に対して反省を求めるものである。

今回、3金融機関との契約に基づき、多額の損失補償金の支払いを履行することについては、市民の血税による支出であることを鑑み、市に猛省を求めるとともに、予算執行に際しては、次の事項を遵守するよう、

- 1 宝塚まちづくり株式会社破綻後の逆瀬川アピア1、2の再生については、地元事業者による主体的な取り組みを原則とし、安易な市支援は行わないこと。
- 2 アピア1、2リニューアル事業に際して発生した諸問題（追加工事費問題等）は、すみやかに解決を図るよう、逆瀬川都市開発（株）を指導するとともに、同社が自らの責任において経営再建を行うよう、推進体制を再構築させること。
- 3 貴重な市民の税を使得って損失補償金を支払うこととなるため、安易に財政調整基金の取り崩しだけに頼ることなく、市都市経営改革行動計画の達成を図るなど、より一層の行財政改革に取り組み、財源の確保に努めること。
- 4 「アピア逆瀬川の再生に関する調査専門委員会」による原因究明を踏まえ、同社経営陣に対しては、徹底的な責任追及を行うこと。

決議する。

- 1 宝塚まちづくり株式会社破綻後の逆瀬川アピア1、2の再生については、地元事業者による主体的な取り組みを原則とし、安易な市支援は行わないこと。
- 2 アピア1、2リニューアル事業に際して発生した諸問題（追加工事費問題等）は、すみやかに解決を図るよう、逆瀬川都市開発（株）を指導するとともに、同社が自らの責任において経営再建を行うよう、推進体制を再構築させること。
- 3 貴重な市民の税を使得って損失補償金を支払うこととなるため、安易に財政調整基金の取り崩しだけに頼ることなく、市都市経営改革行動計画の達成を図るなど、より一層の行財政改革に取り組み、財源の確保に努めること。
- 4 「アピア逆瀬川の再生に関する調査専門委員会」による原因究明を踏まえ、同社経営陣に対しては、徹底的な責任追及を行うこと。

平成21年6月22日

宝塚市議会



一般質問

- 本定例会では、6月2日から8日まで、20名の議員が、市政全般について自ら課題を取り上げ、新市長に对しささまざまな質疑を行いました。
- 各議員が行った一般質問の項目と掲載面は次のとおりです。
- 江原 和明 議員……9面  
市長選挙政策目標・21年度予算・前市長汚職
- 近石 武夫 議員……9面  
市長選挙時公約・著書
- びつくり・財政健全化となき正勝 議員……10面  
緊急雇用・大型公共事業の見直し・介護保険
- 北山 照昭 議員……10面  
総合計画・父子家庭支援・地域経済雇用対策
- 大島淡紅子 議員……10面  
シネピア・市立病院の女性就労・職員提案
- 浜崎 史孝 議員……11面  
市長公約に関して
- 草野 義雄 議員……11面  
今後の政策課題・米谷財産区の区有金支出
- 中野 正 議員……11面  
消防指令共同運用・経済危機・信頼の宝塚市
- 坂下 賢治 議員……12面  
新型インフルエンザ・宝塚駅橋上化・市道
- 北野 聡子 議員……12面  
教育環境・学校図書館
- 司書・芝生の校園庭
- 田中 こう 議員……12面  
苦難に耐える市政・追出し屋・核兵器廃絶
- 藤岡 和枝 議員……13面  
子育て支援・子供の健全な成長・動物と共生
- 梶川みさお 議員……13面  
シルバー人材・職人気事異動・定額給付金
- 山本 敬子 議員……13面  
北部地域・新型インフルエンザ・病院経営
- 井上きよし 議員……14面  
新型インフルエンザ・介護保険新認定
- 小山 哲史 議員……14面  
市長の基本的な認識はたぶち静子 議員……14面  
新型インフルエンザ・学校給食・西谷の安全
- 三宅 浩二 議員……15面  
危機管理体制・定額給付金・高齢者支援充実
- 伊福 義治 議員……15面  
市内企業・5次総合計画・資源ごみ持ち去り
- 多田浩一郎 議員……15面  
市長公約

## 公務ではなく、プライベートで働いている 危機管理の教訓にしたい

江原 和明 議員  
公明党議員団

【市長選挙の政策目標等】  
議員 産科を復活させる  
とのことだが、市長は病院  
院長に就任したのではない  
市長 病院職員を信じ、  
勇み足にならぬよう、市長  
として側面から手伝いたい  
議員 5月16日に開催の  
新型インフルエンザ対策本  
部会議の検討事項は、  
危機管理担当部長 神戸  
市で国内最初の感染者が発  
生し、今後の対応を検討す  
るべく開催した。  
議員 市長がこの本部会  
議を欠席したのはなぜか。  
市長 市長就任前から依  
頼されていたシンシアの丘  
の除幕式に出席したため。  
議員 市の大事の時に不

在だった。公務でなく、プ  
ライベートで働かれています  
今回の判断を反省すべき。  
市長 危機管理の教訓に  
したい。  
【21年度予算事業から】  
議員 現在の学校施設の  
高架水槽式では休日明け等  
に給食調理に使用する際、  
約1時間流し続けると残り  
留塩素が規定値に達しない  
管理部長 今年度中に19  
校を直圧式に改修。残り17  
校は次年度以降に対応。  
【前市長の汚職事件に関連  
する事業の取り扱い】  
議員 プラスチック類選  
別等処理業務委託契約のそ  
の後と新たな契約の用途は  
環境部長 本年7月末を  
目途にリ・テック(株)との契  
約終了を目指したい。現在  
新たな業者との契約に向け  
契約方式等を検討中。



学校の高架水槽

## 財政健全化の考えは 身の丈にあった行財政

近石 武夫 議員  
市民ネット宝塚

【市長選挙時の公約実施】  
議員 選挙時に大変多く  
の公約を掲げているが、危  
機的な財政状況の中、すべ  
ての実施は困難ではないか。  
市長 既に、クリーンな  
市政の実現に向け前市長の  
不法行為に関する調査専門  
委員会を設置。また、市長  
の日程を市ホームページで  
公表している。  
議員 クリーンな市政の  
実現は、市民の最大の願い。  
当該委員会は、年度末に提  
言を行うとのことだが、事  
件の関係者から十分事情を  
聞かなければ原因究明はで  
きないのではないか。  
市長 弁護士と協議し、  
当然それはあり得るとの回

答を得ている。  
【著書「びつくり」】  
議員 市長の著書を読ん  
でびつくり。パート2は、  
市長 自らの半生をつづ  
ったエッセー「びつくり」、  
パート2は書いていない。  
【財政健全化】  
議員 市長の財政健全化  
に対する考え方は、  
市長 「市民参加で身の  
丈にあった行財政を」「無  
駄をなくし市民のお金を有  
効に使う」を理念に財政健  
全化の取り組みを訴えてき  
た。人にやさしいまちづく  
りを柱として施策を実現す  
るには、健全な財政運営が  
前提であると認識している。  
議員 平成22年に経常収  
支比率を90%にする目標が  
あったがどうなっているか。  
行財政改革担当部長 実  
現は困難。下方修正する。



市役所本庁舎

# 新名神IC計画は見直しを 市民の声を聞き慎重に対応

となき 正勝 議員

日本共産党宝塚市会議員団

## 【緊急雇用・経済対策】

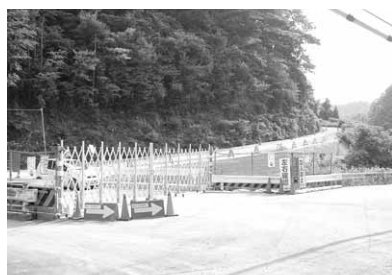
議員 通学路、公園や公  
共施設などの点検は補修箇  
所の発見につながり、まち  
づくりや市内中小事業者の  
経済対策となる。

市長 手作業を中心とす  
る業務は緊急雇用対策に適  
しており、市内中小事業者  
の受注機会は増加する。

議員 地域や業界団体と  
協力すれば、雇用機会創出  
のアイデアも生まれまちづ  
くりにもつながるのでは。

【大型公共事業の見直し】  
議員 新名神道路は不要  
IC計画は見直しを。

市長 多くの市民の意見  
を聞き、関係機関と十分に  
調整し、慎重に対応する。



造成中の新名神工用道路

議員 荒地西山線の事業  
期間を延長し、年間の負担  
額を削減できないか。  
都市安全部長 国県と協  
議し5年間の延伸が認めら  
れた。

議員 競馬場高丸線の幅  
員拡大は必要か。  
都市安全部長 地元の声  
を聞きながら検討したい。

【安心できる介護保険制度】  
議員 新しい認定方法に  
変わり、全国の認定審査会  
は1次判定の7割を重度に  
変更。市町に派遣されてい  
る認定適正化専門員による  
抑制が働いているのでは。

市長 利用者等の声を受  
け、新しい認定方法の検証  
や本人の希望により従前の  
認定区分を認める経過措置  
が国で講じられた。本市の  
認定審査会の意見を踏まえ  
国への要望等を検討する。

# 困窮する父子家庭が増加している 本市独自の支援を調査研究する

北山 照昭 議員

爽新会

## 【総合計画の立案】

議員 総合計画検討市民  
会議の追加募集の目的は。

市長 市長就任時、既に  
委員は決定していたが、よ  
り幅広い層の市民の参画が  
必要と考え、募集した。

議員 なぜ同会議の公募  
要領に沿った手順を踏まず、  
今回の追加公募を急いだの  
か。勇み足ではないか。公  
平性を期すため、公募を白  
紙にすべきでは。

市長 次回会議から参加  
いただくには時間がなかつ  
た。今後は要領に従うが、  
白紙に戻す予定はない。

【父子家庭への行政支援】  
議員 経済的に困窮する  
父子家庭が増加しているよ



現在までの宝塚市総合計画

うだが、本市の実態は。  
市長 児童扶養手当の一  
部支給と福祉医療の助成対  
象の父子家庭は平成19、20  
年度ともに46世帯。

議員 父子家庭はメンタ  
ルな問題や社会の考え方等  
周囲に相談しにくく、支援  
を求めにくい面がある。

【地域経済・雇用対策】  
議員 地域活性化策とし  
て日向市の住みリフォーム  
促進事業や島田市の金券の  
補助制度等を検討しては。

副市長 今回の臨時対策  
交付金に対する計画立案に  
地域活性化の視点を盛り込  
み、市内の経済活性化につ  
ながるよう、検討したい。

# 児童生徒に映画館の体験を 文化的な側面から検討

大島 淡紅子 議員

社会民主党議員団

## 【シネ・ピニア】

議員 文化への市民ニ  
ズは高い。映像文化発信拠  
点としてどう考えるか。ま  
た、防災面の位置づけは。

市長 映像文化復活の思  
いの下、市民参加で建設計  
画を進め、公設民営の映画  
館として設置に至った。防  
災計画では予備避難所とし

て高齢者や障害者、特別な  
配慮が必要な災害時要援護  
者優先の避難所と位置づけ  
議員 避難所として周知  
がされていない。徹底を。

議員 高稼働により空調  
設備等の経年劣化が激しい。  
今後の市の対応は。

市長 空調設備の精査等  
を実施。今年度中に保全計



災害時避難所としても機能

画を策定し、適切に対応。  
【市立病院での女性就労】  
議員 女性医師及び看護  
師の確保の取組は。就労の  
場としての職場環境は。

病院事業管理者 女性医  
師の割合は18・2%。子育  
て育児支援の充実で働きや  
すい職場づくりを目指す。

【職員提案制度】  
議員 現状と制度の活用  
と、「能力開発事業」は。

市長 17年度に所掌事務  
の改善報告の制度を新設。  
17年度は19件、19年度は5  
件、20年度は5件。事務改  
善報告のみならず、新たな  
改善提案ができるよう制度  
及び事業を検討。



# 新名神インターは不要か 地域の声を聞き結論

浜崎 史孝 議員  
爽新会

【市長公約に関して】

議員 市長は重点課題の第一に公共事業透明化条例制定、第二に公益通報者保護制度活用を挙げているが、市長 第一は、二代続いた市長の不祥事を根絶するため不正の働かない仕組みを構築する必要性から訴えた。第二は、公益通報制度を活用しやすくするために職員に研修等を通じて周知徹底していく。

議員 公共事業を見直し、深く分を市立病院に費やすとのことだが経営努力は。

市長 公共事業見直しによる効果額の使途は、健康で安心して暮らせる宝塚のために配慮したい。なお、



新名神完成予想図

3月に策定した病院改革プランに定める改善策に取り組み、徹底した経営努力を払うことは当然である。

議員 国保税を納められない人への補助を考えると、どういふことか。

市長 きめ細やかな納税相談、減免制度等の周知や制度のあり方の検討などを行っていききたい。

議員 市道561号線は平成2年着工以来10億円を投資し完成したがこれこそ無駄な公共事業である。

副市長 安全面での地元要望を第一に、関係機関と協議を進めていきたい。

議員 新名神スマートインターはなぜ必要か。地元の声をよく聞かすべき。

市長 7月、西谷での車座集会で直に地域の声を聞き結論を出したい。

# 参加型行政が行革につながる 職員提案が活発に出される職場に

草野 義雄 議員  
日本共産党宝塚市会議員団

【今後の政策課題】

議員 職員の提案等、参加型行政が行革につながる。また、市民参加のあり方を見直す時期に来たのでは。

市長 職員提案が活発に出される職場作りに努め、幅広い層の市民が市政運営に参加できるよう取り組む。

議員 入札制度の改革改善では、価格競争だけでなく、総合評価制度が必要。

市長 技術等の評価を加味する総合評価方式を前年度から試行導入。本年度も引き続き施行する予定。

議員 平成20年度建設工事の約7割が最低制限価格での入札。建設コンサル等は落札率100パーセント



職員提案による絵本コーナー

という談合の疑いが強い入札が8件もあり、異常だ。

副市長 建設工事は件数の減少、電子入札制度導入等で競争性が高まった。設計等の入札は、多くが学校の耐震診断、耐震補強工事の設計。全国的に時期が集中。高落札率になっている。

議員 低価格での入札や高落札率での入札に対し、調査制度を導入すべき。

【平成16年度米谷財産区区有金の支出】

議員 米谷東婦人会に対する補助金に宗教行事と思われる支出があり、憲法違反の疑いが強い。なぜ補助金の自主返還を求めたのか。

総務部長 憲法に抵触するか判断できないが、市民から疑義の指摘があったため、自主的な返還の協議をさせていただいた。

# 女性のガン検診受診率アップを 国の目標を1%でも上回りたい

中野 正 議員  
公明党議員団

【消防指令業務共同運用】

議員 共同運用のメリットは。

市長 共同運用により、災害情報を集中化管理。救急集中時や大規模災害等の際、迅速・柔軟な出動体制が可能となる。

【経済危機対策】

議員 今回の国の補正予算で地方への基金、交付金など経済危機対策は積極的な取り組みが大事である。

市長 基金の全容が明らかになった段階で迅速な対応をする。また交付金はその趣旨にのっとり中小企業対策等効果的な施策になるよう実施計画を検討。

議員 女性特有のガン検



消防本部総合司令台

診に対する支援は。

市長 市でも独自施策があるが、国の支援策が明らかになった時点で、一人でも多くの方が受診できるように取り組んでいく。

議員 今回の支援は受診率アップが重要。目標は。

市長 国の掲げる目標を1%でも上回るよう努力。

【信頼される宝塚市をめざして】

議員 市長の「市役所を二度と汚職が起きない、起こさせないよう構造改革する。」との発言の具体的な取り組みは。

市長 調査専門委員会の最終報告に沿って、市の組織、コンプライアンス制度等の見直しに速やかに取り組む。

議員 リスクに対して向き合う内部統制の導入を。



# 公衆トイレの設置 実現に向けて努力する

坂下 賢治 議員  
爽新会

## 【新型インフルエンザ対策】

議員 公共施設の閉館は、集客施設への影響を考慮すべきだったのでは。

副市長 感染防止のため閉館。効果はあったと判断。議員 秋の第2波に向け早急に体制整備を。

市長 一生懸命に取り組んだが課題は残っている。経験を生かしていきたい。

## 【JR宝塚駅橋上化に伴う事業】

議員 市民が望んでいる公衆トイレ設置の約束を破棄するのか。

市長 市も必要と考えており、実現に向け努力する。議員 設置場所は早急に決めてほしい。



JR宝塚駅前

## 【宝塚小学校南側の市道561号線の開通】

議員 信号機設置の進捗と本線開通の見込みは。

市長 地元自治会に現踏切内での車両通行規制や接続道路の一方通行規制等の協議を依頼中。また、警察等に信号機の早期設置を要望し本線開通に努める。

都市安全部長 踏切の場所に信号機を設置するのが一番よいが、車の進入時に踏切が遮断するので、警察に断られている。地元では他の適切な場所への設置に向け、踏切の車両通行止めに取り組んでいる。議員 信号機の設置が適切なものとなるよう車両通行の方法を十分に話し合い早期開通を望む。

# 学校図書館司書の配置を 年次的に全小中学校に配置

北野 聡子 議員  
市民ネット宝塚

## 【教育環境の整備】

議員 子どもの未来に責任を果たすには。

市長 安心して明るく育つ教育環境を整える。施設の安全と教職員が子どもと向き合う時間の確保、家庭や地域等との連携が不可欠。

議員 全国自治体では教材費予算に格差がある。交付税が学校に行き渡っていないのではないかと。教育振興基本計画に教育予算拡充を盛り込むべきではないか。

市長 財政健全化を確保しつつ、子ども支援に配慮。副市長 交付税の充当先を分析し引き続き重点的に予算措置をしていきたい。議員 教育予算の一律力



中山五月台小学校図書館活動

ットで子ども学ぶ権利を奪わないように。

## 【学校図書館司書の配置】

議員 読書は学力向上等につながる。配置予定は。教育長 緊急雇用機会創出事業を活用し、年次的に全小中学校に配置していく。

## 【芝生の校庭や公園】

議員 芝生は環境にも優しく、子どもたちの怪我が減り活発に活動できる。「鳥取方式」等、低コストな事例を参考にしたい。

市長 公園を管理する団体と協議し、芝生化を望む意向が示されれば検討する。芝生化をした学校を見学したい。教育への思いは議員と同じ。今後も一生懸命取り組んでいく。教育長 利点は多いが、整備や維持管理費等は課題。他市の事例を参考にしたい。

# 核兵器廃絶・平和のために 日本非核宣言自治体協議会への加入も

田中 こう 議員  
日本共産党宝塚市会議員団

## 【苦難に心える市政に】

議員 親の経済的理由により高校教育から排除される等、子どもの貧困が社会問題となっているが。

市長 親から子への貧困の連鎖を懸念する声は強い。子どもや家庭へのセーフティネットが必要であり、施策を充実したい。

議員 子どもがいる滞納世帯への市営住宅から強制退去は問題では。滞納者に寄り添っていきける生活サポートチームの設置を。

市長 相談内容を十分聞き取り、担当業務に精通した職員による丁寧な対応と関係各課の緊密な連携を図る。窓口一元化を含め、今



リーフレット「平和への願い」

## 【賃貸住宅追い出し屋】

議員 住宅を追い出されたい者に、緊急避難的に提供できる市営住宅が必要では。副市長 公営住宅法に基づいており困難な面がある。国の動向を見守っていく。

## 【世界に向けて核兵器廃絶・平和のメッセージを】

議員 憲法9条と核兵器廃絶に対する見解は。市長 市民生活の基本はまず平和である。戦争の放棄を明記した条項を遵守し、憲法の平和精神を守り続ける。核兵器廃絶に向けて全力で取り組む。

議員 平和市長会議に加盟する記者発表があったが、市長 日本非核宣言自治体協議会への加入も検討する。また、命の尊さや平和の大切さを訴えていく。

# 「赤ちゃんの駅」設置 今年度中に開設

藤岡 和枝 議員  
公明党議員団

当者による情報交換を行い警察等の関係機関からアドバースを受ける。

議員 ネットいじめの問題は潜在化。子ども達への相談体制は。

学校教育部長 悩みの相談室の案内等全保護者にリーフレット配布を行う。

### 【動物と共生の街づくり】

議員 飼い主のいない猫の去勢、不妊手術に助成を。

市長 飼い主の有無の判断や財政状況等から早期実施は困難だが地域の意見を聞き助成措置の実施に向け調査研究を積極的に進める。

### 【子育て支援の更なる充実】

議員 赤ちゃんの駅の実

副市長 授乳やおむつ交換の場を、赤ちゃんの駅という統一的な考えの中で、

親しみのあるキャラクターの決定も含めて、今年度中に再整備、開設する。

議員 子育て支援に対する市長の心意気は。

市長 しつかり取り組んでいくことを約束する。

【子どもたちの健全な成長を見守る環境づくり】

議員 携帯電話によるトラブルやネットいじめは深刻な状況にある。対応は。

教育長 各校の指導担



赤ちゃんの駅となる  
予定の市役所授乳室

# シルバー人材センターの設立趣旨は 高齢者の就業援助と福祉増進

梶川 みさお 議員  
社会民主党議員団

シルバー人材センターに意見を聞くようお願いする。

### 【市職員の人事異動】

議員 人事異動の目的は市長 組織の活性化や職員資質の向上を図り、市民サービスの向上が目的。

議員 精神的な病の職員の人事異動には所属長の配慮が必要だ。

副市長 産業医や所属長と連携をとって配慮している。今後は、家庭での悩みについても十分把握して、配慮するよう指導する。

### 【定額給付金】

議員 DV被害者など一番困っている人に給付金が支給されていない。市としての救済措置は。

市長 DV被害者の方については、国の補正予算などで別事業で措置できないか検討している。

### 【シルバー人材センター】

議員 シルバー人材センターの設立の趣旨は。

市長 高齢退職者の希望に応じた就業を援助し、その能力の積極的な活用を図るとともに、高齢者の福祉の増進に資するもの。

議員 4月から駅前駐輪場業務の就業体制が4交代制から3交代制になり、勤務時間が延長され働きにくくなったと聞いたが。

市長 より効率的な運営と会員の収入確保のため変更したと報告を受けている。

議員 仕事を分け合うワークシェアリングが必要。会員の意見を聞くべきだ。

都市産業活力部長 今後、



小林自転車駐車場

# 西谷地域の活性化 特産品ブランド化に取り組む

山本 敬子 議員  
自民党議員団

議員 対策の苦勞は。病院事業管理者 医療スタッフの疲弊と患者の増加に対応できるかの不安。状況を把握する県から適切な情報提供がなく苦勞。

議員 秋冬に向けて、市立病院の今後の対応は。病院事業管理者 現時点では不明な点が多く樂觀は問題。様々な状況に対応できる最大の準備が必要。

### 【市立病院の経営健全化】

議員 市民1人に1万円という公約の具体策は。

市長 22万市民で20億という数字を示した。病院の徹底した経営努力を前提に経営改革プランの進行管理を検証する。

議員 市民にとって産婦人科の再開は絶対必要。女性医師にも配慮を。

議員 農免道路の整備は。市長 一部区間は拡幅を終えている。引き続き市道1509線との交差点まで順次整備を進めていく。

議員 農業の活性化には新名神のスマートインターが必要では。

市長 インターが不要ではなく立ち止まって考えようとすること。市民の参加を求めていきたい。

【新型インフルエンザ対策】

議員



西谷夢市場



# 特別障害者給付金制度の周知徹底 改めて丁寧に周知を

井上 きよし 議員  
緑花・福祉連合

【新型インフルエンザの危機管理】

議員 第2、第3の流行も含めハイリスク群の方々の対応は。

市長 人工透析患者、妊婦の方々には、無償でマスクを。次期流行への対応は今回なかった通所施設の閉鎖要請も想定され、通所通院のできない高齢者、障害者に在宅での支援を検討。議員 これらの対応は、長期、大規模な施設では困難。何ができるか具体的に。副市長 相談の専用電話を設けサービスの調整や、行政、利用者、事業者や施設が協力し、施設の部分開放、派遣の仕組み等を想定

して検討。現実に可能な部分から整備する。

【介護保険新認定】

議員 国は、現行の審査判定と同程度と分析。新認定により行われた本市の審査結果は。

市長 1次判定では、従前の認定結果より軽い判定が38%、変更なしが43%。2次判定では、軽度判定は減少。更新時に従来どおりの判定を希望した人は88%。新規申請については経過措置はない。

議員 判定が軽くなることは考え難い。不服申請は非常に複雑。弾力的運用というが、市としての独自対応は。

健康福祉部長 全国統一の調査項目等で要介護認定を実施。平準化のために独自方法での認定は困難。



障害者の通う小規模作業所

# 都市経営については 議会の理解を得て市政を運営

小山 哲史 議員  
市民ネット宝塚

【市長の基本的な認識は】

議員 地方分権改革推進は最重要課題である。分権型社会への転換は、地方の税財政基盤の確立、自己決定・自己責任、受益と負担の明確化等を目指すものである。その道程は厳しい。住民・首長・議会が自治の担い手と意識し、職員も使命を自覚し、それぞれ確固たる意志と責任を持ち進むべきものであるが、市長の見解は。

市長 地域の行政を地域住民の意思で決定し、責任も自らが負う分権型社会では、地域や住民の視点に立った柔軟な行政運営への変革が可能となる。地方分権の意義は、地域の創意と工

夫により、地域の特性を踏まえた行政運営を行い、個性豊かで活力に満ちた地域社会を構築できる点にある。議員 市長は22万の全市民のために働き、都市経営をきっちり行う必要があるとともに、行政の代表としての全責任がある。今、本市には緊急的対応が必要な課題が多くあるが、都市経営についての見解は。

市長 民間企業における経営手法等を可能な限り導入し、人、もの、資本、情報といった地域資源を有効かつ適切に組み合わせ、地域の課題解決に当たる。また、市長として指揮をとるとともに、議会ともよりよいまちづくりの議論をし、理解を得て市政運営を行う。

議員 機会あるごとに議論をさせていただきたい。



市議会本会議場

# 食育推進で地産地消を 関係団体と調整し、取り組みたい

たぶち 静子 議員  
日本共産党宝塚市会議員団

【新型インフルエンザ】

議員 市民への正確な情報の周知が大事。個人備品の見本の提示や、各家庭での食料、水、衛生用品等、備蓄の呼びかけも重要では。危機管理担当部長 感染予防や拡大防止は行政だけでは困難。個人や家庭での対策も必要。行動計画策定後は市民と連携して進める。

議員 西谷小学校における食育教育への取り組みは。教育長 地域での農業体験、収穫した農産物を学校給食に取り入れる等、食の大切さ、育てる大変さ、食べる喜びを学べた。食育を通じて生きる力や豊かな心

を育むよう取り組んでいる。議員 食育教育では地場産物を学校給食に使用することが不可欠。市の食育推進計画を作成しているか。管理部長 具体的な食育基本計画はないが、給食における地場産物の使用は過去から取り組んでいる。食料の量的確保や配送に課題があり、今後、関係団体と調整しながら取り組みたい。

【西谷地域の安全対策】

議員 県と連携し、事業者の不法投棄ごみの搬出に向けた対策を。また、周辺の水質等の状況はどうか。環境部長 県の産業廃棄物撤去命令に未だ事業者は従っていない。県と現場に出向き、今後の対策について協議を進めたい。水質については市が定期的に厳しく監視。現在、異状はない。



地元食材を使用した給食



# 危機管理室の役割

## 揺るぎない安全安心の確保

三宅 浩二 議員  
公明党議員団

### 【危機管理体制】

議員 新型インフルエンザや大規模災害に対応するため設置した危機管理室の役割は非常に重要。今回の新型インフルエンザにおいてどのように機能したのか  
市長 危機管理に関する総合調整と情報収集、情報の共有化を図り、決定事項の実施体制を整備した。  
議員 今回の対応を踏まえた対策については。  
市長 今回の経験や対応策を生かし、市民の生命と健康を守る迅速的確な対応ができるよう、新型インフルエンザ対策行動計画を速やかに作成し、揺るぎない安全安心の確保に努める。

### 【定額給付金支給事業】

議員 給付状況と未申請者への対応は。  
市長 申請件数は8万8112件で約92%。未申請の全世帯に7月頃に再通知し周知を図る。また転居先不明の方は現住所を調査し申請書を再送付する。  
副市長 DV被害者は現住地に住民票がなく、現制度では定額給付金を受給できないが、国の地域活性化経済危機対策臨時交付金による同様の支給を検討中。

### 【高齢者支援の充実】

議員 健康大学講座は高齢者の関心が高く受講希望者も多い。拡充できないかは困難であるが、健康づくり介護予防講座や地域の要望により実施する健康教育、健康相談の利用を促進する。



新型インフルエンザ時のマスク販売の様子

# 4月初めから市内業者に仕事を

## 他市の事例を真剣に調査

伊福 義治 議員  
市民ネット宝塚

### 【市内企業の支援】

議員 企業への支援策は。  
市長 融資あつせんや信用保証料の補助を実施。  
議員 市は単年度予算のため新年度の入札は5月以降、市内業者が工事を施工できるのは早くても夏頃。事業完了は年度内であり、業者は年度初めの手持ち工事がほとんどない。他市では予算の繰越明許制度を活用し入札の残予算を活用して4月から工事を発注。年間の発注量を平準化し中小企業を支援する例もあるが。  
副市長 地方自治法の単年度主義という予算制度の欠点を補うものであり、真剣に調査していきたい。

### 【第5次総合計画】

議員 作文ではなく市ビジョンを計画として策定することが必要。市民が見て理解できる目標値の設定を。  
市長 目標値は計画に盛り込む。総合計画検討市民会議を設置し計画策定の当初から市民参加を求めた。  
議員 市民参加の本来の意義は補完性の原理。自助共助、公助の役割分担をすることで、単に市民の意見を聞くことではない。

### 【資源ごみ持ち去り問題】

議員 持ち去り業者の車のスピードが危険との声が。  
市長 一部の地域で紙布かん等の収集運搬業務の民間委託を試行。その効果を検証し拡大を検討する。  
議員 問題の根本的な改善は図られていない。持ち去り禁止条例の制定を。



市内業者による公共工事

# 市長公約は誇大広告では

## 発する言葉に嘘はない

多田 浩一郎 議員  
無所属

### 【市長公約】

議員 新名神のインターチェンジ不要、市立病院の産科復活、庁内会議公開、新市民ホールは検討委員会を設け検討についての発言時の意図、真意は。  
市長 新名神IC不要は、新市長として一度立ち止まり考えることも必要と発言。今後、市民の声を聞き、整備内容等を検証。国・県、関係機関等とも調整し、慎重に適切に対応する。  
産科復活の思いは強いが早急な再開は困難と考えており、ひとつの市立病院で無理なら、近隣市との広域的な医療体制ネットワーク化も検討する。



市長公約で産科復活を掲げる市立病院

庁内会議公開は、市民が市政に参加するためには情報が必要との思い。率直な意見交換や意思決定の中立性に影響の可能性もあり慎重に検討する。  
ホールの整備は、市民文化の向上を目指すためにも検討が必要と考えたが、直ちに進めるのは困難であり、長期的な視点にたち検討する。  
議員 産科復活は、公約段階でははっきりと断言されたとは認識。答弁はトーンダウン、軌道修正している。発言時の聞き手の市民は、素直に言葉どおり理解し、休診した産科が休診前に戻ると受止めており、今日の軌道修正を受入れられないのでは。公約として掲げた看板には偽りがあり、誇大広告ではないか。

# 議員一覧・今後の予定

## 議員名簿一覧

平成21年7月15日現在

氏名	所属会派	所属党派	連絡所所在地	電話番号	当選回数
石倉加代子	爽新会	無所属	宝松苑	0797(72)4479	3回
井上きよし	緑花・福祉連合	無所属	平井2	0797(82)3500	3回
伊福 義治	市民ネット宝塚	無所属	福井町	0797(72)3626	1回
江原 和明	公明党議員団	公明党	鹿塩1	0798(54)7249	4回
大島淡紅子	社会民主党議員団	社会民主党	平井山荘	0797(89)4090	2回
梶川みさお	社会民主党議員団	社会民主党	末成町	0797(73)0763	1回
金岡 静夫	緑花・福祉連合	無所属	山本野里2	0797(88)0423	3回
北野 聡子	市民ネット宝塚	民主党	小林2	0797(73)4556	2回
北山 照昭	爽新会	無所属	中山五月台6	0797(88)3386	9回
草野 義雄	日本共産党宝塚市会議員団	日本共産党	野上1	0797(62)3352	6回
小山 哲史	市民ネット宝塚	自由民主党	中山桜台4	0797(89)2140	6回
坂下 賢治	爽新会	自由民主党	川面6	0797(86)1308	2回
多田浩一郎	無所属	無所属	すみれガ丘2	0797(81)3895	2回
田中 こう	日本共産党宝塚市会議員団	日本共産党	鹿塩2	0798(52)3575	1回
たぶち静子	日本共産党宝塚市会議員団	日本共産党	下佐曾利	0797(91)0198	2回
近石 武夫	市民ネット宝塚	民主党	中山五月台6	0797(88)7781	4回
寺本 早苗	市民ネット宝塚	無所属	栄町3	0797(87)3840	2回
となき正勝	日本共産党宝塚市会議員団	日本共産党	高司2	0797(77)7552	2回
中野 正	公明党議員団	公明党	武庫山2	0797(72)2227	1回
浜崎 史孝	爽新会	民主党	逆瀬台1	0797(74)0077	1回
深尾 博和	緑花・福祉連合	無所属	清荒神3	0797(86)3456	4回
藤岡 和枝	公明党議員団	公明党	伊子志4	0797(71)3546	1回
三宅 浩二	公明党議員団	公明党	平井3	0797(89)3423	1回
村上 正明	自民党議員団	自由民主党	星の荘	0797(86)7039	4回
山本 敬子	自民党議員団	自由民主党	すみれガ丘2	0797(87)3000	1回

8・3▽本会議(臨時会)  
 8・6▽本会議(予備日)  
 9・9▽議会運営委員会  
 9・10▽本会議  
 9・10(提案説明)  
 9・25、28、29▽本会議  
 (一般質問)  
 10・1▽本会議  
 (一般質問予備日)  
 10・2、5、6  
 ▽常任委員会  
 (付託議案審査)  
 10・7▽常任委員会  
 (予備日)  
 10・14▽議会運営委員会  
 10・15▽本会議  
 (議決・決算上程)  
 10・19▽本会議(予備日)  
 10・26、27  
 ▽決算特別委員会  
 10・29、30  
 ▽決算特別委員会  
 11・2▽決算特別委員会  
 議会報かけはしはすべて  
 の世帯と事業所のポストに  
 宅配でお届けしています。  
 発行日を過ぎても届かない  
 場合は、(株)ダイコク  
 フリーダイヤル  
 0120-01822-216  
 (9時から20時まで)へ。

### 今後の予定